

チームビルディングのコツ

組織と個人の多面的な視点からのアプローチ



【講師】
秦 敬治
(岡山理科大学
副学長・教育学部長)

マネジメントとは？

第2回の今回は、良いチームを作り上げていくためのコツについて、講師の秦敬治先生と一緒に考えていきました。

まず、最初に行ったグループワークは「指定された東京の観光地を、全て巡って制限時間内にゴールまでたどり着く」というゲームでした。やってみるとなかなか難しく、時間内にゴールまでたどり着いたのはたったの1チームでした。

目標を達成するためには**マネジメント(能力・効率よく全体を管理・コントロールすること)**がとても重要になります。メンバーの弱みを消し、強みだけを**集結させる**ことが理想であり、一人ひとりの強みを活かせるよう仕事を割り振り、全員が輝ける一番良い状態にチームを持っていくことが、マネジメント

するということですが、チームマネジメントに必要なもの

チームをマネジメントするうえで、大切なことは色々と考えられます。ひとつは、**メンバーのこと**で、何が得意で何が苦手か、どのような考えを持っていてるか等を知らないままでは、強みを活かしたり、仕事を割り振ったりできないでしょう。

また、**想いを共有すること**も大切です。自分の思いを全てのメンバーに理解してもらうことは難しいです。しかし、自らの思いを語り続け、少しでも自らの感覚に近づけていくことで、組織は機能していくはずですが、**加えて、相手の立場に立って物事を考える**ことも必要です。その人がどうして失敗するのか、困っている原因は何なのか。自分の考えに固執することなく

立っている位置が違うと見える景色も違うことを理解する。そして、**選択理論(※)**を使って、**正しい行動を選択する手助けを行うこと**ができれば、メンバーが失敗から救うことができず、失敗の多くは、計画が立てられない、或いは、計画通りに物事を進められないために起こります。失敗しないために、次のことを実践してみましよう。

- ① 明確な目標を設定
- ② 目標達成のためのスケジュールを立てる
- ③ 計画通りに実行できているか管理・確認

目標達成という成功体験を積み重ねることができれば、いずれは①②③が自然とできるようになるはずですが、**目指すべき人材像**
真摯さなくして組織なしと言われるほど、**真摯さ**は重要な資質であり、リーダーの品格の基本です。真摯さを

定義することは難しいですが、**真摯さの欠如**は難しくありません。

- ① 強みよりも弱みに目を向ける人
- ② 何が正しいかよりも誰が正しいかに関心を持つ人
- ③ 真摯さよりも頭の良さを重視する人
- ④ 部下に脅威を感じる人
- ⑤ 自らの仕事に高い基準を設定しない人

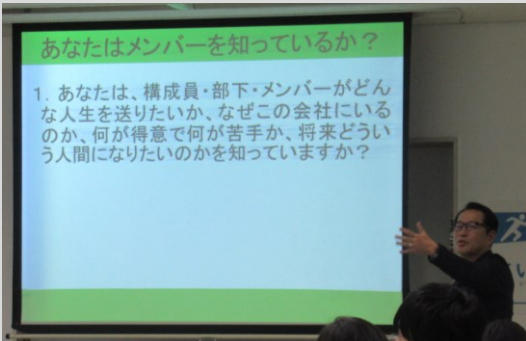
①②⑤に当てはまる人は、マネジメントする立場には不向きです。真摯さを忘れず、信頼される人であろうとしていけば、チームも良い方向に向かっていくのではないのでしょうか。

受講者のコメント

- ・自分を見つめ直す良い機会となった。
- ・身近な例を挙げながらの説明が分かりやすかった。
- ・グループワークがとても楽しかった。



総合福祉センター(ふれあいプラザ)で行われたセミナーの様子



※ 選択理論…全ての行動は自らの選択であり、自らの行動は他人に選択されないし、他人の行動を選択させることもできない。そのため、問題が発生した時には、相手を受け入れ、自分との違いを交渉して解決する。